

A Y A世代等がん患者支援事業について

1 主な現状と課題

- ・ A Y A世代（主に 15 歳以上 40 歳未満）に発症するがんに対する診療体制は定まっておらず、患者が適切な治療を受けられていないおそれがある。
- ・ 患者数が少なく、また疾患構成が多様であるが、小児がん拠点病院や成人の拠点病院等で治療を受けている場合があるため、相談事例が蓄積されにくい。

2 令和元年度における新たな取り組み

A Y A世代のがん患者への支援体制の構築に向け、小児科と成人診療科間等における連携や相談支援強化に向けたモデル事業を実施する。

3 事業内容

(1) 実施病院

- ・ 都内 2 か所、3 病院で実施
→ 区部：1 か所 1 病院、多摩地区：1 か所 2 病院

(2) 検証・報告

- ・ 連携担当の看護師を中心とした医療連携
→ 小児・成人診療科の双方が参加するカンファレンスの実施等
- ・ A Y A世代への相談支援事例の集積等
→ 事例集積に加え、他拠点病院相談員へのアドバイス等も実施
- ・ 医療従事者の啓発の実施
→ シンポジウムの開催、院内向け勉強会の実施等